

大会名 Competition	第36回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-109	Year Month Day Time 2023 年 5 月 4 日 15 : 45
場所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会  
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB					
市立船橋	<table border="1"> <tr><td>14 1st 26</td></tr> <tr><td>17 2nd 23</td></tr> <tr><td>22 3rd 22</td></tr> <tr><td>24 4th 14</td></tr> <tr><td>0 T</td></tr> </table>	14 1st 26	17 2nd 23	22 3rd 22	24 4th 14	0 T	洛 南
14 1st 26							
17 2nd 23							
22 3rd 22							
24 4th 14							
0 T							
77 ●		85 ○					

主審:Crew chief  
伊藤 陸哲 岩手  
副審:Umpire  
相澤 慎之介 秋田  
畠山 樹了 秋田  
テーブルオフィシャル:Table officials  
横手高校男子バスケットボール部

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
0	×	ストーン	ライアン	11	1	4	0	2	4	×	鬼防	壬陽人	6	0	1	4	2
2	×	平井	琉人	10	0	4	2	4	5	×	井上	涼雅	11	1	3	2	0
3	／	菊田	瑛暉	5	1	1	0	1	6	／	和田	天祐	8	0	2	4	2
5	×	諏訪	航平	15	3	3	0	4	7		木村	隼	-	-	-	-	0
9		鈴江	昭人	-	-	-	-	0	8		廣瀬	優斗	-	-	-	-	0
11	／	早乙女	樹生	4	0	2	0	1	9		石田	暖光	-	-	-	-	0
12	×	白石	楓	2	0	1	0	5	10		辻	弥斗	-	-	-	-	0
18	／	高木	祐	0	0	0	0	0	11	×	松本	秦	32	2	8	10	4
24	×	斉藤	海惺	13	3	1	2	3	12	×	中島	悠登	10	0	3	4	1
34	／	吉野	結都	0	0	0	0	0	13	／	佐々木	凌汰	2	0	1	0	1
46	／	長島	昊大	3	1	0	0	0	14	×	小林	祐	4	0	2	0	2
51	／	有村	駿之介	2	0	1	0	3	15	／	田中	夢大	10	1	3	1	4
77	／	名古曾	唯斗	9	1	3	0	0	16		小杉	思	-	-	-	-	0
81	／	川上	颯太	3	0	1	1	3	17		神原	龍太郎	-	-	-	-	0
91	／	牧	祐獅	0	0	0	0	0	18	／	中西	慶	2	0	1	0	0
コーチ		斉藤	智海					0	コーチ		吉田	裕司					0
Ａコーチ		星野	拓海					0	Ａコーチ		河合	祥樹					0
合計				77	10	21	5	26	合計				85	4	24	25	16

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

#### Score ranking[Team]

1	15	19.48%	諏訪 航平
2	13	16.88%	斉藤 海惺
3	11	14.29%	ストーン ライアン

1	32	37.65%	松本 秦
2	11	12.94%	井上 涼雅
3	10	11.76%	中島 悠登

#### Score ranking[Game]

1	32	松本 秦	洛 南	2	15	諏訪 航平	市立船橋	3	13	斉藤 海惺	市立船橋
---	----	------	-----	---	----	-------	------	---	----	-------	------

1Q、両校ドライブからのゴール下、3Pで得点を重ねる。市立船橋は得意のコンビネーションが噛み合わず、洛南のディフェンスを崩し切れない。洛南は着実に点を重ね、徐々に点差が広がる。

2Q、本来の持ち味であるディフェンスでのボールプレッシャーが機能し始めた市立船橋だが、洛南もペースを落とさず当たりを強める。このピリオドでは洛南#11松本が攻守で活躍。ディフェンスリバウンドからペイントエリア内での積極的なプレーでファウルをもらい、フリースローも全て決める。特別目立っていたわけではないがこの働きがいい流れを作る。

3Q、後半に入り、市立船橋はターンオーバーから速い展開で速攻に繋がる場面が増えた。洛南#14小林のポストプレーに対しては周りがカバー。それでも洛南はゴール下、3Pでの得点で粘り強さを見せる。

4Q、洛南は外一中一外と良いリズムでのシュートチャンスを作り、インサイドの力強さも発揮する。一方で市立船橋はファウルトラブルが続く。連続で3Pが決まり追い上げを見せるも、洛南が逃げ切り77-85で試合終了。